



合格のために必要なことをはっきりと明示してくれました。

平成24年度卒業生 黄 芸桜

郁文館グローバル高校での1年間のニュージーランド留学を経て、上智大学外国語学部英語学科に受験を決めたのは高校3年生の1学期のことでした。受験を決めてからは担任との綿密な面談を重ねての小論文作成、資格取得、ネイティブの先生方との実地試験対策などに力を入れました。合格のために必要なことをはっきりと明示してくれたことと、留学帰国生の特徴に応じた手厚いアフターケアがあったことが合格の鍵になったと思います。



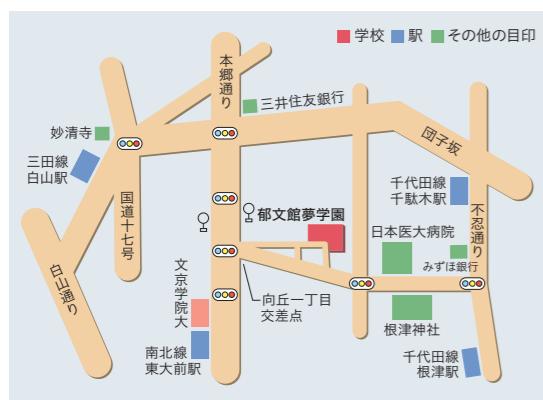
留学で身に付けたことは自立と積極性。

平成24年度卒業生 佐藤 韶平

郁文館グローバル生として過ごした3年間で英語力はもちろん、人間的にも著しく成長しました。現在の入試で必要なことは、総合力。決して学力だけではありません。留学で身に付けた自立と積極性。そして帰国後は最高学年の学級委員長として、全学年をまとめる大役をつとめました。そうした経験と先生方の手厚い指導で、第一志望の大学に合格しました。誰にでも自慢できる、最高の3年間でした。

学校説明会スケジュール(要予約)

- | | |
|---------------------|----------------------------------|
| 中学
 | ◎10月 5日(土) 11:00~12:30 (郁秋祭内で開催) |
| | ◎10月 6日(日) 11:00~12:30 (郁秋祭内で開催) |
| | 10月12日(土) 14:00~15:30 |
| | 11月16日(土) 14:00~15:30 |
| | ◎12月21日(土) 14:00~15:30 |
| | 1月11日(土) 14:00~15:30 |
| 高校・グローバル
 | ◎10月 5日(土) 11:00~12:30 (郁秋祭内で開催) |
| | ◎10月 6日(日) 11:00~12:30 (郁秋祭内で開催) |
| | 11月30日(土) 14:00~15:30 |
| | 12月 7日(土) 14:00~15:30 |
| | ◎の説明会は理事長渡邊美樹が直接お話をさせて頂きます。 |
| | ご予約、詳細は下記の学園HPからご確認ください。 |



【交通のご案内】

- 東京メトロ南北線 東大前駅下車 徒歩5分
- 東京メトロ千代田線 根津駅下車 徒歩10分 千駄木駅下車 徒歩10分
- 都営三田線 白山駅下車 徒歩10分
- 都バス 東京駅丸の内北口(東43)、駒込駅(茶51)、荒川土手(東43)、お茶の水駅前(東43・茶51)より 向丘1丁目下車 徒歩3分

学校法人 郁文館夢学園

〒113-0023 東京都文京区向丘2丁目19番1号
Tel 03-3828-2206(代) Fax 03-3828-1261
E-mail info@ikubunkan.ed.jp

郁文館夢学園のホームページには、実践された教育プログラムの紹介や生徒自身が更新するリアルな情報が満載です。

郁文館夢学園オフィシャルサイト
www.ikubunkan.ed.jp
携帯サイト
www.ikubunkan.ed.jp/m



郁文館のスクールガイドブックは、環境面の配慮からFSC森林認証紙を使用しています。
また、ユニバーサルデザインの視点から読みやすさに配慮したフォントを使用しています。

1309-20

Dream Navigation

「異なるものと共生し、未来を切り拓くことができる力」
～郁文館が育てる本物のグローバル力～

「グローバル」という用語が一種の流行り言葉のように巷で語られる昨今、本学園のグローバル高校では、既に8年前から「全生徒一年間留学」のプログラムを導入し、今では国内最大数(約90名)の高校生を毎年、海外現地高校へ一年間留学をさせる学校へと発展を遂げました。そして現在、この過程で得たさまざまなノウハウを、郁文館中学校・高等学校へも水平展開し、学園全体が「グローバル力」の醸成に注力しております。本学園が大切に考えてきたことは、「グローバル力=英語力」だけでは決してないということです。英語というツールは、この時代を生きる子どもたちには必須ともいえる有用な物ですが、それ以上に、生身の人間と人間の直接的な衝突から逃げず、諦めず、粘り強く合意形成を図れることの方がよほど重要です。本冊子でもご紹介する郁文館が提供するユニークなプログラムの数々を是非この観点からもご覧ください。「いつでも、どこでも、だれとでも」適切なコミュニケーションが図れる人物こそが、自分の夢の実現に大きく近づけるのだということを私たちは強く信じています。



「生きた英語」を学ぶ 郁文館夢学園 英語科教諭 ダンカン・ターナー

「自分の英語が相手に通じる」これ以上に、英語学習のモチベーションを上げる体験があるでしょうか。こうした体験を日常的に得られること、これが本校のこだわりです。授業のみならず、常にネイティブスピーカーと一緒にいることで、実際に使える「生きた英語」を覚え、英語学習をライフワークにしていくという意識が育ちます。ネイティブスピーカー、日本人、どちらの教員も常に生徒と接することができるよう、生徒の教室の側にグローバル高校専用職員室を構えて常駐しております。

郁文館の英語教育で、驚異的にスコアを伸ばしています

● TOEFL JuniorとTOEFL iBTのスコア

英語に対して高いモチベーションを持つ母集団の中で、郁文館グローバル高等学校はハイレベルな成績を残しています。

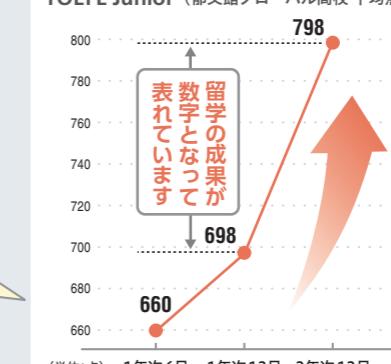
平成23年度3年生40名中(卒業時)

英検1級合格 2名
英検準1級合格 18名

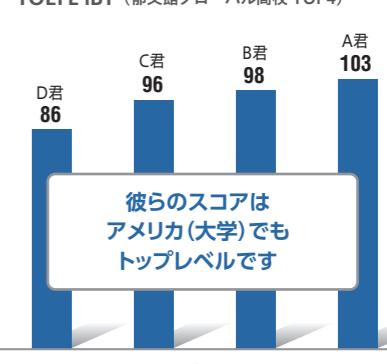
平成23年度3年生40名中(高2 12月)

IELTS クラス平均5.6(総合評価) 6.0以上14名

TOEFL Junior (郁文館グローバル高校 平均点)



TOEFL iBT (郁文館グローバル高校 TOP4)



彼らのスコアは
アメリカ(大学)でも
トップレベルです

TOEFL (Test of English as a Foreign Language)は、アメリカにあるETS (Educational Testing Service)が作成した英語を母国語としない人々のための英語運用能力測定テストで、世界中で110万人が受験し、最も認知度の高い英語能力テストです。米国、カナダの大学に留学を希望する外国人学生が大学での授業についてける英語力を有しているかを評価するため1964年に開発されました。TOEFLテストが主に大学教養レベルでの英語運用能力を測るテストであるのに対し、TOEFL Juniorテストはその中高生版です。

IELTS (International English Language Testing System)は、英語熟練度を測る英語検定の1つで、オーストラリア、イギリス、カナダ、アイルランド、ニュージーランド、南アフリカのほとんど全ての大学で受け入れられ、アメリカの3000以上の教育機関で受け入れられています。最近は、中国や台湾、シンガポールなど、アジアの大都市への進学の際にも使われています。

『インプット』と『アウトプット』を、 バランス良く上達させる工夫(支援)が郁文館中学校にはあります。

英語学習はある程度、英単語や文法事項のインプットがないと、英語の読み書きや発音・英会話などが上達していません。(読み書き・発音・英会話のことをアウトプットといいます)

郁文館中学校では、英語入門期のインプットの時期にたくさんの英語に触れさせて、単語と基本的な文法事項を徹底的に身に付けさせています。それが礎となり、中学2年の後半あたりから英語を読んだり、書いたり、話したりとアウトプットができるようになります。

さらに、高校になれば入試対策で、またインプットの時期が多くなり、アウトプットは減少します。このインプットの時期とアウトプットの時期を6年間でバランス良く配置しています。



■ 英語によるパフォーマンス「ヤングアメリカンズ」(中2対象)

ヤングアメリカンズとは、アメリカの非営利の教育団体で、メンバーは将来ブロードウェイで活躍することを目指すシンガーやダンサーたちです。そんなヤングアメリカンズと、本校の中・高校生たちと一緒に、わずか3日間でエンターテイメントのショーを作り上げていきます。彼らの歌や踊りが好きという情熱に影響され、子どもたちは自分のカラを破っていきます。

ショーの中では生徒たちにソロパートなど輝ける場所を与え、ヤングアメリカンズに助けられながら、自分の思いを表現していきます。そして、一人ひとりが違った個性を持っていることを認め合い、自分とは違った他人を大切にすることを学ぶのです。

多少英語が通じなくても、一緒に活動ができるという体験を通じて、国際人としての自信を養うことができます。



郁文館の特色ある英語教育

中学1~2年 (インプット期)

- 単語集を用いて英単語指導
- オリジナル文法テキスト・教科書で文法学習
- 英検講座で英検頻出単語と表現を学習・リスニング特訓
- 英会話の授業・イングリッシュシャワーで英単語と会話表現学習

中学2~3年 (アウトプット期)

- プレゼン・英作文
- 英会話
- 夢合宿によるイングリッシュキャンプ
- ニュージーランド研修
- 中学2年3学期に中学1・2年の総復習テスト
- 中学3年2学期にチャレンジ入試

目標 中学2年修了時

英検3級に
合格する
実力を付ける。

目標 中学3年～高校

英検準1級に合格し、
TOEFLスコアを
80～100に伸ばす。
東大などの
難関大学に合格

私は中学1年生の時、人の前で発言をするのがとても恥ずかしかったです。ヤングアメリカンズのショーの中で、私はソロでラップを歌うことになりました。それを聞いたときは、ちょっと嫌でしたが、チャンスだと思いました。いざ本番で歌うと、とても楽しく人前で何かを見せるのはとてもいいことだと感じました。私が学んだことは、人前で発表するのは恥ずかしくないという事です。これからは人前でたくさん発言しようと思いました。今では、うるさいくらい発言しています。

中学2年 中田 海斗



■ 英語を用いて地域コミュニケーションを図る

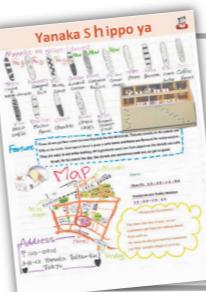
学校付近の谷中・根津・千駄木(通称:やねせん)にある各企業と協力し職場体験を行っています。社会性、職業観を養うとともに、英語教育や起業体験などの学びを実践することを目的としています。

活動のなかで、英語を使ったガイドボランティアや、高校生の視点で地域の魅力を発見し、英語で紹介するガイドブック制作といった「域学連携」活動を行っています。



私は、観光案内所の職場体験を行いました。飲食店にインタビューをし、日本語と英語での紹介レポートを作成します。英語のレポートは観光案内所のホームページを通して全世界に発信されます。仕事に大きな責任を感じながらも、留学で学んできた英語を実践的な場で活用できた点や、より良い紹介文を書くために試行錯誤できたことがとても有意義でした。

グローバル高校3年 島田 敬大



私は、日本文化を海外に発信したいという思いから下駄店を取材したレポートを作成しました。取材を重ねるなかで、下駄には足音や履き心地など見た目だけではわからない、日本的な魅力が息づいているものだと学びました。地域の方々にとって喜ばれるレポートをつくれたとともに、改めて日本文化のすばらしさに気付けた体験でした。

高校3年 鈴木 ゆりあ



入門期の英語は丁寧な指導が大切です。最近では小学校から英語を学んでくる生徒も多くなってきていますが、小学校の英語と中学校の英語をうまく繋げていかないと英語嫌いが増えます。英単語の綴りと音を楽しく覚え、ある程度の長さのある英文の意味が分かるように徹底的に英語漬けにします。中学1年の英語はインプット中心で、徐々に自分で読む、書くというアウトプットが増えていきます。最終的には英語で自己表現ができるようになります。

郁文館夢学園 英語科教諭 洪 性孝